

水管理システム



中央管理所全景



操作室内部

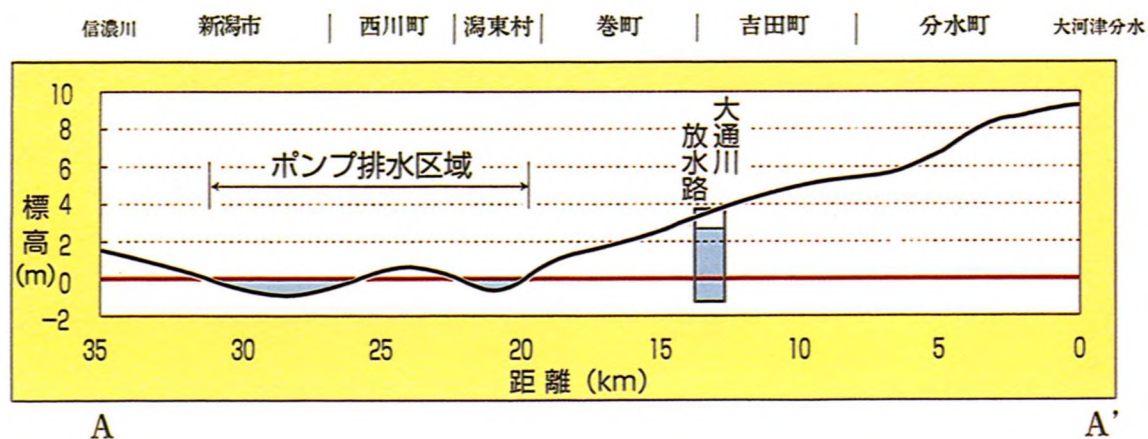
水管理システム



気象情報処理システム (MICOS)



光ケーブル架設状況



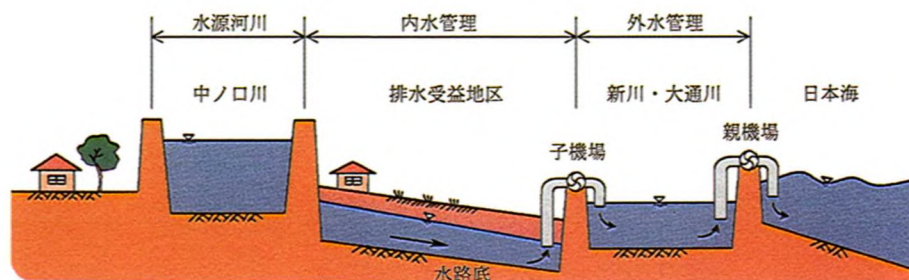
西蒲原地域の縦断面図

1) 戦後の国営事業

- ①新 川 S22~49
- ②鑑潟干拓 S33~43
- ③新川二期 S42~54

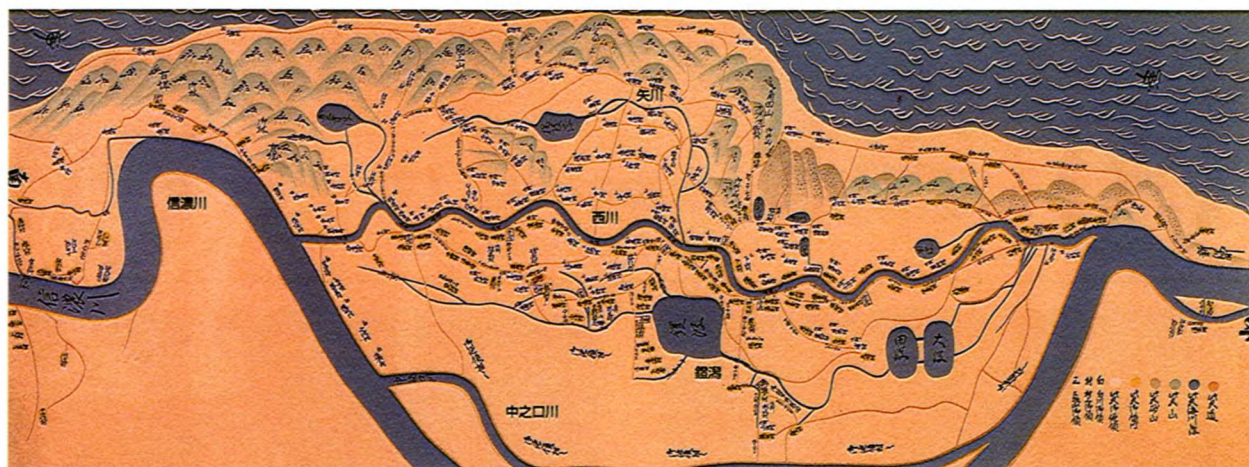
2) 地形標高別面積

- ①0m 以下 4,600ha (13%)
- ②0.5m 以下 9,010ha (26%)
- ③1m 以下 10,700ha (31%)



西蒲原地域の横断面図

地域の変革



かつての西蒲原地域

昔の農作業風景



牛による耕起



人による田植え



人による収穫

現在の農作業風景



トラクターによる耕起



機械による田植え



コンバインによる収穫

関係市町村の写真



新潟市 にいがたし

1996年3月にラムサール条約の登録湿地となった「佐潟」。大小2つの潟からなり、面積は43.6ha、平均水深は1m程度で、水源は周辺砂丘地からの湧水や雨水に頼ってます。野生生物のオニバスの群落やミズアオイを初めとした貴重な水生植物が数多くみられます。冬には数千羽の白鳥が羽を休め、ヒシクイやミコアイサなど様々な水鳥が越冬のためにやってきます。



佐潟



燕市 つばめし

夏の訪れとともに、燕市民の躍動と歓声が沸き上がる飛燕夏まつりで、若者からも積極的にまつりに参加してもらおうと考え出された「1000人みこし」です。1990年から始まり、みこしだけでなく「燕も担ごう」を合い言葉に約1000人の老若男女が粋な姿でみこしを担ぎ、今ではまつりの名物と言えるほどに成長しました。規模・質とも県下・日本一のパフォーマンスを繰り広げてくれます。



1000人みこし



岩室村 いわむろむら

江戸時代より北国街道の温泉地として栄えた岩室温泉は、新潟県の「芸妓」発祥の地。江戸時代より続く花柳界は芸所として、踊り・唄・三味線等を身につけた芸妓から若い芸妓まで約80名が在籍しています。岩室温泉まつりでは、芸妓連総出で威勢のいい掛け声とともにみこしをかつぐ“芸妓若者みこし”や、艶やかな揃いの着物で踊りを披露する“芸妓屋台踊り”が華やかに行われます。



岩室芸妓



弥彦村 やひこむら

弥彦村には、数多くの「桜」の名所があります。一番早咲きの停車場通りの“山桜”を始め、外苑坂通り・弥彦公園・神社東側第1駐車場・弥彦神社桜苑などで、“染井吉野・八重桜・枝垂れ桜”を楽しむことができます。また、村指定文化財の学名“ヤヒコザクラ”は、樹齢170年余、胴回り2.6m、樹高は12m余で、全国的にも貴重な1株とされています。



桜

関係市町村の写真



分水町 ぶんすいまち

毎年4月の第3日曜日に行われる「おいらん道中」は、応募で選ばれた信濃太夫・桜太夫・分水太夫の3人のおいらんが、絢爛豪華な衣装に身を包み、高さ15cmもある三枚歯黒塗りの高下駄を履き、総勢70名にも及ぶ付き人を従えて、独特の外八文字の歩き方を披露します。毎年、この“越後の夢道中”を観るために全国から15万人を超える観桜客が訪れ大賑わいとなります。



おいらん道中



吉田町 よしだまち

毎年7月26、27、28日の3日間、町を上げて開催される「吉田まつり」は夏の風物詩として町民総参加で行われます。今年、平成15年から主な行事はすべて夜に行われることになり、本まつりである27日の夜には「山車巡業」が行われます。各町内会から14もの伝統ある山車が町内を練り歩きます。まつりの内容も盛りだくさんで、吉田民謡流し、大花火大会などバラエティーに富んでいます。



吉田まつり



巻 町 まきまち

「米百俵」の精神は、明治のはじめに戊辰戦争で焼け野原になった長岡藩に、三根山藩が見舞いとして百俵の米を送ったのが始まりです。ときの長岡藩の大参事・小林虎三郎は、これを藩士に配分せず売却し、その代金を人物の養成のため国漢学校の資金に注ぎ込みました。この「米百俵」の故事は、文豪・山本有三の同名の戯曲によって広く知られるようになり、小林虎三郎の思想は今なお多くの人に深い感動を与えています。



米百俵



西川町 にしかわまち

西川のほとりにある「西川ふれあい公園」は、水と緑のなかでゆったりとした時間を過ごすことができる憩いの場所です。噴水・ガスケードなどの水辺空間や、桜・ショウブ・アジサイ・サザンカなど四季折々の美しい花々を楽しめます。また、江戸時代に長岡藩が設けた曾根代官所を模して建てられた無料休憩所だいろ家からは、西川町を一望できます。



西川ふれあい公園

関係市町村の写真



味方村 あじかたむら

延々と張り巡らせた壕と土塁、かやぶき屋根の堂々たる表門の奥に、往時の威風を映す。「笹川邸」は、江戸時代に旧村上藩の大庄屋を努め、味方組ハカ村を支配していた笹川氏の旧屋敷です。昭和24年4月に国の重要文化財に指定され、当時の大庄屋のおかれた立場をありのまま残し、支配者と支配者を支えた農民たちの生活を、今も変わらず伝えています。



笹川邸



潟東村 かたひがしむら

村名の由来である鎧潟のあった昔から、潟東村周辺ではカモ猟が行われてきました。そこで、猟でとった野ガモを使ったカモ汁を味わえる「かもん! カモねぎまつり」を毎年12月第1日曜日に開催しています。着ぐるみによるカモ猟実演パフォーマンス、お楽しみ抽選会、農産物や農業資材・特産品の競り売り、フリーマーケットなども行われます。



かもん! カモねぎまつり



月潟村 つきがたむら

江戸時代には春の風物詩として大人気だった「角兵衛獅子」。その由来は水害による飢饉の口減らしとも、角内・角助兄弟による父角兵衛の仇討ちとも伝えられています。明治の中頃に衰退したことを元村長の青柳良太郎氏が惜しみ、昭和11年に保存会を設立し、後継者養成に努力されました。現在では小中学生の有志により、郷土芸能として伝承されています。



角兵衛獅子の舞



中之口村 なかのくちむら

初代の「澤将監」は本来甲斐武田信玄の家臣でしたが、武田氏滅亡後に越後に入り、1612年この地に来住しました。澤家は新田開発に力を注ぎ名声を高め、1616年に村庄屋に任命されました。平成6年に史跡公園整備事業で澤大庄屋を往年の姿で復元し、地域の教育・文化、コミュニティ形成の場として、また観光の拠点施設として利用しています。



澤将監の館

事業の経緯

年 度	工 事 関 係	事 業 計 画 関 係	そ の 他
S 53		6月26～28日:集中豪雨により地区内全域で湛水被害を受ける・地区調査	
S 54		地区調査・全体実施設計	
S 55			3月:事業所開設
S 56		7月19日:当初計画確定	
S 57	9月:七穂排水路着手		
S 58	11月:国上隧道着手		
S 59	11月:七穂排水機場着手		
S 60			
S 61	10月:御新田放水路着手		
S 62	8月:横江排水路着手 3月:七穂排水機場完成 3月:七穂排水路完成		5月:事務所に組織改正
S 63	11月:旧木山川排水路着手 11月:月潟郷排水路着手		7月14日:国上隧道貫通式
H 元	9月:飛落川着手 10月:小新排水機場着手 11月:曲通排水機場着手		
H 2	6月:旧木山川排水機場着手 10月:鎧潟排水機場着手 11月:田潟排水路着手 3月:旧木山川排水路完成 3月:横江排水路完成 3月:国上隧道完成 3月:大通川放水路着手		
H 3	3月:小新排水機場完成 3月:月潟郷排水路完成 3月:曲通排水機場完成 3月:御新田放水路完成 3月:鎧潟排水機場完成	3月31日:第1回変更計画確定	第1次工種別完了
H 4	11月:旧広通江排水路着手 1月:新々樋曾山隧道上口着手 2月:新々樋曾山隧道下口着手 3月:旧木山川排水機場完成 3月:飛落川完成		第2次工種別完了
H 5	12月:旧広通江排水機場着手 3月:田潟排水路完成		
H 6	12月:田潟排水機場着手		
H 7	9月:升潟排水機場着手 3月:新々樋曾山隧道下口完成		
H 8	3月:新々樋曾山隧道河海工着手 3月:旧広通江排水路完成 3月:旧広通江排水機場完成 3月:田潟排水機場完成 3月:升潟排水機場完成		第3次工種別完了 1月22日:新々樋曾山隧道貫通式
H 9	10月:新々樋曾山隧道上口完成	8月21日:第2回変更計画確定	9月30日:新々樋曾山隧道一般公開式
H 10			
H 11	3月:新々樋曾山隧道河海工完成		第4次工種別完了
H 12	9月:大通川着手		
H 13	3月:大通川放水路完成		第5次工種別完了
H 14	9月:西大通川着手		11月1日:大通川放水路通水式
H 15	6月:大通川完成 7月:西大通川完成		第6次工種別完了 10月22日:事業完工式



国営西蒲原排水農業水利事業

完工記念写真集

平成15年10月22日

編集・発行：北陸農政局西蒲原農業水利事務所

印刷・製本：株式会社 都市パイロット社